



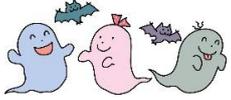
緑の園/グリーンプラザ セキレイ成長記録

緑の園  8月号

ヒルトップハイツ 

グリーンプラザ

デイサービスセンター

だより 

第110号 

令和7年8月1日発行

Ratt/Invasion of Your Privacy(1985)

幸運の鳥、セキレイは無事成長し 見事に巣立っていきました。

連日「危険な暑さ」に見舞われている北海道ですが、ここまでの暑さに慣れていない道産子は過酷な暑さが一日でも早く落ち着いてもらいたいです。

さて、猛暑のなか先月の初旬から緑の園/グリーンプラザの事務所前の光庭(こうてい=中庭とは呼ばないみたいです)に植わっている木に「セキレイ」(ハクセキレイまたはセグロセキレイのどちらかが巣作りをしてひなを育てていることが確認されました。

以前、わたしの母から「鳥が家に巣をつくるとその家は火事にはならないので、幸運の前触れ」と聞いていたので巣づくりを確認した今回、「幸運の前触れ」なんだろうと思いケータイでそのことについて調べてみました。

したら、「鳥が巣を構える家は外敵から守られているとされ厄除けの効果があると信じられている。さらには『セキレイ』は神様の遣いとされ喜びごとがある、家が豊かになる、子宝に恵まれる、繁栄と健康が約束される。」と書かれているではありませんか、最後の部分で「セキレイ」は幸せを呼ぶ鳥とされ、その「セキレイ」が安心して巣作りできる環境は「その場所に良い気」がながれている証拠。」と、うれしくなるようなことばかり紹介されておりました。

この原稿を書いている7月下旬の時点では「セキレイ」家族の姿は光庭では見かけませんので無事に巣立ちはできたんだろうと思います。頑張れセキレイ家族。



面会に関するお願いです。

新型コロナウイルス感染症の北海道における発生動向は7月に入ってから幾分上昇傾向にあります。

新型コロナウイルスの株といわれるものはJN.1の亜系統と呼ばれるものだそうです。

ですが、ウイルスの怖さについては気が抜けない状況に変わりはありません。

そのような状況下におきまして特別養護老人ホーム丸瀬布ヒルトップハイツでは7月26日から8月24日までの期間面会を**感染予防のため中止**にさせていただきます。

このような措置に度々いたってしまうことを申し訳なく思いますがご協力の程よろしくお願い申し上げます。

さて、基本的な感染防止対策についてのお願いです。

- ①手洗い等の手指衛生や換気。
 - ②特に高齢者等重症化リスクの高い方がおられるような場所(高齢者施設等)ではマスクの着用をお願いいたします。
- ※高齢者施設におきましては現在もおクラスターが発生している状況です。

皆様におかれましても気を緩めることなく感染防止に努めていただきご利用者様をお守りくださいますよう切にお願い申し上げます。





今月の予定を紹介いたします。

今月予定しております行事の紹介をいたします。

ヒルトップハイツにおきましては13日の水曜日午後2時から納涼盆踊り会を施設の中ですが開催する予定となっております。

昨年も企画をしたのですが残念ながら天候に恵まれず、施設の中での開催となってしまいました。今年は天候に左右されずに楽しみたいと思っております。

もう一つ、29日の金曜日遠軽高校家庭科目「生活と福祉」の授業で生徒さんが当法人の丸瀬布ヒルトップハイツ、丸瀬布デイサービスセンター、緑の園そしてグリーンプラザそれぞれの施設を見学のためご来園される予定となっております。

各施設ともまだ完全に開放できていませんのでご利用様との直接的な交流まではできませんが、コロナ禍で何もできなかったこの5年、とにかく少しずつでも以前のような環境に戻っていただくと願っております。

なお、緑の園におきましては日程未定ながら「買い物の日」を予定しております。

先月の出来事を紹介いたします。

先月は参議院議員選挙がありました。

ヒルトップハイツは17日、緑の園/グリーンプラザは14日にそれぞれの施設で不在者投票を行いました。

そんなとある日、Sさんが「施設長、選挙出てないの？、出たら(名前)書こうと思ったのに…。出てないの？、なんだあじゃあ3年後でなさい、私入れるから。あ、でもその頃私もういないわ。」といったものように軽妙な会話で周囲を和ませていただきました。

その時のSさんとのやり取りのやり取りの中で私が「私のことなんか誰も知らないから、のこのこ選挙に出てもダメですよ」とい



たら、「この施設の中では有名でしょ、みんな入れてくれるよー。もっとアピールしたらいいよ。」と仰っていただきました。

もっとアピールしたら…。に関連しての話題ですが、同じ7月の8日に北見市で開催された令和7年度福祉職場説明会に参加させていただきました(23施設参加)。23施設それぞれのリレープレゼンの後に個別の面談を行いました。

我々「丸瀬布社会福祉協会」にお越しいただきました方は5名と、参加者50数名の中では少ない方だったと思います。でも、この説明会は北見市在住の参加者さんばかりなので市外の私たちのような事業所にとっては不利です。

ただ、一つ気が付いたのは「丸瀬布ってどこ？」っていわれたり、「丸瀬布町ですか？」など遠軽町も含めて(遠軽町)丸瀬布って意外と知られていないことでした。

私たちの施設は処遇面では、まさしくほかの先進的施設の「後塵を拝する」部分が多いのは認めますが、流行りの介護方法であったり先進的な部分を追い求めることが必ずしも必要なこととは思いません。

ただ、周囲の施設に先んずることを善とするのではなく、普通のことを普通にできることを(お年寄りにとって好ましくないことはしないこと)大切にしているだけです。

私達は、まず一番に「普通のことが普通にできる施設」を目指す。それってあえてのアピールポイントではないので「離職率が極端に低い」とか「一人ひとりの職員の就業年数」が比較的長いといった法人の特色はあるもののこれが**丸瀬布だ!**というものには欠けてるかもしれません。

何より今回、由々しきできごとは「丸瀬布ってどこ?」といわれてしまった事です。

消滅可能性自治体というとても恐ろしい言葉が存在する現在、北見市在住の若者にさえ所在があやふやな地区となりつつある遠軽町丸瀬布。

こっちの方が参加していただくおっかなく思いました。

でもまあ、5人だったんですけど介護を目指す方々とお話ができて楽しかったです。

今月もよろしくです。おぼら



われたり、「丸瀬布町ですか？」など遠軽町も含めて(遠軽町)丸瀬布って意外と知られていないことでした。

私たちの施設は処遇面では、まさしくほか

